

# 評価表

\_\_\_\_\_回目

(所属機関) \_\_\_\_\_

審査員: \_\_\_\_\_

発表会場 \_\_\_\_\_

発表番号: \_\_\_\_\_

評価のカテゴリー		観点	評価	メモ欄	
目的・意義	研究の目的	・研究テーマの目的が明快であり、かつ自分なりの独創的な視点が含まれている。	/ 5	【コメント記入欄】※発表者にフィードバックします。	
	研究の背景・意義	・研究テーマの学問的・社会的意義や位置づけをよく理解できている。	/ 5		
方法・取り組み	方法	・適切な実験、観察、調査等が計画されており、方法に創意工夫が認められる。 ・(チーム研究の場合)チームメンバーの強み・個性が活かされ、分担あるいはシナジーによるプラスの効果が発揮できている。	/ 5		
	取り組み	・課題や困難な点に、粘り強く、柔軟かつ自立的に取り組んでいる。	/ 5		
結果と考察・成果	考察	・得られたデータや結果に基づき、論理的、多角的かつ深い考察ができています。	/ 5		
	成果	・新たな発見・発明や独自の研究方法の開発など、学問分野やテクノロジーあるいは社会への貢献が認められる。	/ 5		
発表	発表	・研究テーマや成果等のポイントがよく整理され、わかりやすい発表(ポスター)ができた。質問に対しても適切な対応ができた。 ・ルールに従ったポスターの書き方をしっかり踏まえている。研究倫理や生命倫理(対象分野のみ)に配慮している。	/ 5		
	今後の発展性	・挑戦的な研究テーマに取り組んでいる。 ・研究の内容が独創的あるいは極めて高い水準に達している。 ・国際的に活躍する次世代の傑出した科学技術人材として期待される。	/ 5		
<p align="center">【5段階評価の基準(絶対評価)】</p> <p>5: 優れて達成している 4: やや優れて達成している 3: 概ね達成している 2: やや達成が不十分 1: 全く達成できていない</p>			/ 40		